

高 岐高だより

第155号

令和6年5月10日
岐阜県立岐阜高等学校
PTA会長 宮崎征一郎
印刷/ヨツハシ(株)
題字/筑間 敏博

CONTENTS

- 創立百五十一年目 新たなスタート 学 校 長…… p1
- 桜雲をながめて PTA会長…… p2
- 第十三回科学の甲子園全国大会 進路指導部…… p2
- 歴史と伝統そして新たな創造 生徒指導部…… p3
- 新たな歴史を刻もう！ 進路指導部…… p4
- 令和6年度 進路指導計画 進路指導部…… p4
- 令和6年度 主な大学入試結果 進路指導部…… p5
- 令和6年度大学入試 合格者たちの声 …………… p5~p6
- 海外研修A(アメリカ)報告 進路指導部…… p6
- 海外研修B(マレーシア・ポルネオ)報告 進路指導部…… p6
- 各年次団紹介 年次主任…… p7
- 6・7月行事予定 教 務 部…… p8
- 令和6年度 教職員人事異動 …………… p8



▲対面式



▲入学式



▲部紹介

創立百五十一年目 新たなスタート



学 校 長
石田 達也

今年の春は三月後半に寒い日が続いたこともあって、桜の開花が例年よりも遅く、新年度のスタートを桜の花が彩ってくれました。久しぶりに登校する生徒たちの表情にも、心機一転、今年度もがんばろうという気持ちが表れています。生徒たちは順調に新年度のスタートを切っているようです。四月九日には、柔らかな春の日差しの中、令和六年度岐阜高校入学式を挙行し、三百六十名の新生を迎えることができました。

新生の保護者並びにご家族の皆様、改めて、ご入学、誠におめでとうございます。これにより、今年度は全校生徒一〇八〇名で新たなスタートを切ることにいたしました。

入学式では、新生に対して、各自の夢や希望を叶えるため、高校生活において期待することを二つ話しました。

一つ目は「幅広く新たな活動に積極的に挑戦すること」です。高校生活では、学業とともに部活動も高校生活の大きな柱となります。また、各分野の専門家による講演会に参加したり、大学主催の発表会や全国規模のコンテストに挑戦する生徒も多くいます。挑戦は視野を広げ、人間性を高め、必ず大きな飛躍をもたらします。決して臆することなく、友人と切磋琢磨しながら、様々な活動に積極的に挑戦することを期待します。

二つ目は「二つの『じりつ』の力を獲得す

る」ことです。その一つは自らを律する「自律」です。自らを律するとは、自分の意志で自分の行動を正しくマネジメントすることです。時間の使い方、優先順位、弱点強化など、行動をマネジメントして能力を高めてほしいと思います。

もう一つは、自らの足で立つ「自立」です。入学後は自分の将来を自分の意志で選択し、実現に向けて努力していくことが重要です。周囲に惑わされず、自分の意志を強く持ち、目標に向かって前進してください。新生には「自律」と「自立」の力を獲得することを期待します。

また、同じ日に行われた前期始業式では、「心の豊かさ」とは何かと生徒に問いかねながら、他者と比べるのではなく、自分を正しく評価し、向上心に素直に向き合って、豊かな自分を目指してほしいと伝え、モチベーションを高めて「自分らしく」努力していかうと激励を送りました。

新年度の始まりは環境が変化することが多く、誰もが少なからず緊張や不安を感じる時期です。一方で、心機一転、新たなスタートを切る良い機会でもあります。学校が「創立百五十一年目」の新たなスタートを切るにあたり、自らの手で岐阜高校の新たな歴史を築いていこうと生徒たちに呼びかけました。

生徒の皆さんには、本校の長い歴史を継承し、校訓「百折不撓 自強不息」を貫き、高みを目指して挑戦を続けていくことを大いに期待しています。私たち教職員も、皆さんの心に火をつけるため、精一杯、支援していきます。

保護者の皆様には、今後とも本校の教育活動にご協力いただきますとともに、生徒たちの成長と夢の実現に向けて、温かいご支援をいただきますよう、お願い申し上げます。

桜雲をながめて



P T A 会 長
宮崎 征一郎

今年もまた桜花爛漫の季節がやってまいりました。街には手を引かれた小さな子供たちが元気に歩く姿も見えます。ついこの間まで小さかった子供は、気が付けば高校生となり、保護者の皆様は万感の思いでこの日を迎えていると思います。改めてご入学おめでとうございませぬ。

令和6年は正月から痛ましい震災での始まりでした。希望に満ちあふれた新年初頭に、まさかの大地震で今もまだ不由な生活を送っている方々がみえます。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

私たちを取り巻く環境は『良いことだけ』ではありません。昨今の世界情勢も日本経済も日々変化しその環境の変化に負けない人材が求められています。この岐阜高校での学びはそういった『これからの未来』に通用する、さらには未来を牽引していく教育ができる学校であります。生徒たちは勉強だけでなく、人とのつながりを学び、競争と共感をもって飛躍的に成長していくことでしょう。そし

て、保護者としてその子供たちを守り成長していく場を作ることが大切です。

新入生のみなさんは新たな学校生活が始まり不安と期待でまだ落ち着かぬ日々でしょうか？それぞれ2年、3年と進級された上級生のみなさんはいよいよやってくる大学入試にむけて更なる緊張感も感じてくる頃でしょう。「光陰矢の如し」の言葉通り、時が過ぎるのはあっという間です。それは学生であるみなさんと同様に私たち保護者や教職員も感じているところです。すべての人に与えられた完全なる『平等な時間』は世界中何処にいても誰に対しても同じスピードで過ぎてゆきます。しかし、残されている時間は残念ながら人によって様々です。先に述べました一月の震災で多くの方がこの『限られた時間』をなくすこととなりました。当たり前に過ごす毎日もどのように使うのかは選択することが出来ます。勉強も部活もその選択の一つです。教職員である先生方は全力で生徒に可能性を示してくださいませぬ。平等な速度の時間を、限りある時間を使い、どうか夢を叶えてもらいたいと切に願います。

保護者の皆様へ、子供たちは毎日学校で更には塾で勉強の日々が続きます。家庭内ではその努力をしつかりと認め、子供と一緒に勉強しようではありませんか！子供と一緒に意識を共感することで少しでも楽しく明るい一年を、そして来年度満開の桜を皆で眺めたいと思います。

第十三回 科学の甲子園全国大会

三月十五（十八）日に開催された、科学の甲子園全国大会に、第1回大会から13年連続で県代表として出場し、総合成績第3位となり、代表生徒全員に銅メダルが授与されました。

参加を希望する生徒は、年度当初より校内での学習会を重ね大会に臨みました。夏休みには、隣接する他県の高校生との合同学習会にも参加し、意見交流などの貴重な体験ができました。その後も学習会を重ね、十一月に行われた県予選に臨み、この予選での優勝を受け、チームを再編成し全国大会に向け準備を始めました。

代表チームのメンバーは何れも二年次生の、川畑太鶴、市橋澄明、伊藤和晃、井上志翔、武藤駿佑、鈴木琴子、久保遙貴、金森立樹の八名で、つくば市の会場で行われた大会に参加しました。全国大会は、「筆記競技」と「地学・実験競技」、「化学・実験競技」、「事前



公開の実技競技」が行われ、それぞれの得点の合計で順位が決められます。代表生徒は、それぞれの部活動などの傍ら、個々の能力と共にチームワークを磨き大会に臨みました。

年々参加校のレベルが上がってきている中で、全ての競技で上位の成績を残した結果、7年ぶりとなるメダル獲得となりました。全国大会に参加した生徒だけでなく、学習会や県予選に参加した生徒も含め、大会に向け取り組んだ貴重な経験を、今後の活動で生かしてほしいと思います。後輩の皆さんは、第十四回大会での総合優勝を目指し、今後の学習会に参加してみてください。



歴史と伝統そして新たな創造

生徒指導部

昨年度創立百五十周年を迎えた岐阜高校は、今年度から次の百五十年に向けた歴史と伝統を未来に繋げていくとともに、新たな創造を生み出す人材を輩出していかなければなりません。高い学力のみならず、耐性ある粘り強さ、そして一念のこだわりを持ち続けられる人間力を岐阜高校での学校生活を通して身に付けて欲しいものです。

令和6年度も岐阜高校では、生徒の皆さんが「自他」そして「生命」を大切に、安全で充実した「マナー」ある高校生活を送るために、全職員でさまざまな活動や指導、支援を行ってまいります。

保護者の皆様も、何かご心配なことがあれば、正副担任や年次主任、あるいは教育相談係まで、お気軽にご相談ください。生徒の皆さんが日々元気に過ごし、自らの目標に向けて切磋琢磨し、社会で活躍する大人へと成長していくため、今後ともご家庭と学校との連携・協力をよろしくお願いたします。

【令和6年度 生徒指導部の重点】

- (1) 自他の生命を大切にするための活動と人権教育の推進
- (2) 「情報モラル」教育の徹底
- (3) 教育相談活動および個に応じた支援の充実

【生徒指導関係の行事・活動】

- 担任との懇談週間 四・八・十月
- 情報モラル講話 四月
- フレパリン検査・i-check 五月

- 命の尊さ講話 六月
- 薬物乱用防止講話 十月
- スマホフリーデー

（情報端末の使用を見直す期間）

- 心のアンケート 五・九・十一・二月
- いじめアンケート 五・九・十一・二月
- 校内迷惑調査 六・十一月
- 全校交通安全指導 六・十月
- 校門・交差点 交通安全指導 毎日
- 生活委員によるMSリーダーズ活動
- 交通安全指導・環境美化活動など
- スクールカウンセリング 毎月

生徒指導部からお願い

以下の点について、保護者の方のご理解、ご協力をお願いします。

① 基本的な生活習慣の確立

規則正しい生活習慣が、高校生活の大切な土台となります。起床・就寝・食事・学習の時間を固定することは、学力を伸ばす点でも非常に効果的です。何より学校を休まない、ということが卒業後の進路に大きな影響を与えます。

② 交通ルールを守り、安全に登下校

余裕を持って登下校 予鈴（8時25分）までに教室へ入室完了し、帰日も決して慌てることがないようにご注意ください。

◇ 自家用車での送迎について

学校周辺の道路や民家の前、私有地

などで乗降しないようお願いいたします。ケガ等で送迎が必要な場合は入構許可証を発行しますので、担任に申し出てください。

◇ 交通ルールの遵守

交差点、丁字路での自動車との接触事故が多発しています。自転車同士の事故や歩行者との事故で加害者となったケースもあります。交通ルールを遵守するとともに「命を守る」ため積極的なヘルメット着用をお願いします。

◇ 「自転車安全利用五則」

「緊急事の対応カードの携帯



③ 情報端末・SNSの適切な利用

教育活動で情報端末を活用する機会が増える一方、SNSなどへの自他の個人情報や、他人への誹謗中傷といった不適切な書き込み等に起因するトラブルが多発しています。スマートフォン等の長時間利用も懸念されます。ご家庭でも、情報端末の使用について話し合い、ルールを決めるなど、お子様任せにせず、定期的に使用状況のご確認をお願いします。

教育相談係より



新年度が始まり、変化の連続だった一か月余りが過ぎました。特に一年次生にとっては、何もかも初めてのことで、戸惑うことも多かったでしょう。

この時期においては、誰もが新しい環境に慣れようと緊張の連続で、自分でも気づかないうちに、疲れをためています。その状態のまま大型連休に突入し、精神的に活動することで、さらに疲れをためてしまう人もいれば、これまでの緊張の糸が切れてしまう人もいます。連休明けには、心身に疲れを感じ、何もやる気が起らないといった状態になることがあります。これは決して弱さや不真面目さのせいではなく、誰にでも起こりうる自然な反応です。まずは、規則正しい生活をし、よい睡眠をとることで、身体の機能を回復させましょう。ご家庭では、焦る気持ちや弱音を聞いてあげてください。それだけで、また次へ向かうエネルギーを養うことができます。

学校では、年に十回、スクールカウンセラーに來校していただき、生徒が悩みを相談できる機会を設けています。学校と家庭の連携を密にし、悩みが深刻になる前に早期に対応したいと思えます。心配なことがございましたら、「こんなことぐらいで」と躊躇されることなく、教育相談室までご連絡ください。

教育相談係

- 【教育相談室・特別支援教育コーディネーター】
- 前田博子・遠藤久美子
- 小林里恵・高瀬智子
- 【スクール相談員】
- 大橋聡子
- 【保健室】
- 日置雅子・篠田小夏

新たな歴史を刻もう！

進路指導部

新年度が始まり、みなさんは新しいクラス、新しい環境に馴染んだ頃でしょうか。この春の卒業生も、第1志望の大学進学を目指し、最後まで粘り強く努力する姿を見せてくれました。新型コロナウイルスの影響による制限が徐々に緩和される中で、部活動でも、岐高祭でも、新たな活動のスタイルを築きながら、常に全力で取り組む姿を見せてくれた先輩達です。みなさんは、ぜひ先輩達以上の成果を残せるよう精一杯取り組んでほしいと思います。

三年次生は、大学受験が少しずつ近づいていることを実感しはじめていることでしょう。昨年度より、自らの現状をふりかえり、課題を確認し、その課題を克服するための方法を自ら考え、学習に取り組む習慣をつけてきました。目標に向かって最後まで粘り強く突き進む1年にしましょう。日々の努力の積み重ねが、やがて自信に変わっていくはずですよ。この一年、大学受験という経験を通して人格的にも大きく成長してください。

二年次生は、自分の進路について知識や考えをさらに深め、人として成長できる1年にしてください。本校で行われる、グローバルリーダー養成事業へ積極的に参加し、新たな考えや価値観を取り入れ、進路選択の一助にしてください。また、総合的な探究の時間では、「課題探究活動」に取り組みます。1年次でも、半年間かけて実施しまし

たが、2年次ではさらにそれを充実させるべく取り組みます。より深い探究ができるといいですね。しっかりと取り組むことができるとみなさんが大きく成長できるでしょう。

● 新入生のみなさんへ

新入生のみなさんは、これから始まる三年間の高校生活に期待と不安を抱いて入学してきたことかと思えます。高校では中学校と比べ、一日の学習量が格段に増えます。予習・復習で精いっぱいという人も多いでしょう。今までのやり方では上手くいかない場合もあります。教科担任の先生の話をまとみに、高校生としての勉強方法と学習習慣を確立してください。本校では「PSセミナー」や「大学学問研究」などの取り組みが、総合的な探究の時間で用意されています。また、「グローバルリーダー養成事業」では、様々な分野で活躍される講師の話を間近で聴き、質問することもできます。大いに活用して視野を広げてください。進路希望を確立しつつ、充実した高校生活を送ることを期待しています。

今年は、創立155年目を迎えます。これまでの150年にわたる岐阜高校の歴史と伝統の上に、みなさんの力で、新たな歴史の1ページを刻みましよう。日々みなさんを応援してください。方々に感謝の気持ちを忘れずに、何事にも全力で取り組んでください。

令和6年度 進路指導計画

(4月22日現在)

月	1年次生	2年次生	3年次生
4	PTA総会・学級懇談会(26)	年次集会「進路について」(18) PTA総会・学級懇談会(26)	PTA総会・学級懇談会(26)
5	年次集会「科目選択」(16)	第1回校内実力テスト(7) 年次集会「科目選択」(9)	第1回校内実力テスト(7,8) 年次集会「大学入試スケジュール」(9) 進研共通テスト模試(25)
6	進路意識調査(17)	進路意識調査(19)	駿台全国模試(2) 希望者 PTフォーラム(7) 進路意識調査(18) 医学部ガイダンス(26)
7	進研記述模試(6) 保護者懇談会(11~18)	進研記述模試(6) 保護者懇談会(11~18) 夏季補習(22~26)	進研記述模試(7) 保護者懇談会(11~18) 夏季補習(22~26) 全統共通テスト模試(28) [公開会場]
8	ジョイントセミナー-at東大(6,7)	第2回校内実力テスト(26,27)	全統記述模試(17) [公開会場] 第2回校内実力テスト(26,27)
9	進路適性検査[R-CAP](10) 医学部ガイダンス(13) PTフォーラム(26)	「卒業生と語る会Ⅰ」(10) PTフォーラム(25)	年次集会「共通テスト説明会」(12)
10	進路意識調査(1) 年次集会「科目選択」(10) 駿台全国模試(20) [公開会場] 希望者 第1回校内実力テスト(16,17)	進路意識調査(3) 駿台全国模試(13) [公開会場] 希望者 年次集会「進路、科目選択」(24)	進路希望調査(2) 全統記述模試(6) [公開会場] 全統共通テスト模試(20) [公開会場] 第3回校内実力テスト(16,17)
11	進研記述模試(2)	進研記述模試(2)	年次集会「進路について」(14)
12	保護者懇談会(17~23)	保護者懇談会(17~23)	進路検討会(2) 共通テスト特編①(12,13) 保護者懇談会(17~23)
1	進研記述模試(18) 第2回校内実力テスト(28)	駿台全国模試(18) 第3回校内実力テスト(28,29)	共通テスト特編②(8,9) 共通テスト特編③(14,15) 年次集会「共通テスト諸注意」(17) 大学入学共通テスト(18,19) 大学入学共通テスト自己採点(20) 特編授業・午後補習(1/21~2/7) 個別懇談会(27~29) (希望者)
2	駿台全国模試(16) [公開会場] 希望者		自宅学習期間 入試特講(10~21) 国公立二次試験前期(25~)
3	「卒業生と語る会Ⅱ」(24)	「卒業生と語る会Ⅱ」(24)	国公立二次試験中期(8~) 国公立二次試験後期(12~)

令和6年度 主な大学入試結果

※合格者は延べ数・過年度卒業生も含む

国公立大学	現・過合格数
北海道大	5
東北大	2
筑波大	1
千葉大	3
東京大	9
東京外大	1
東京工業大	1
横浜国立大	2
富山大	4
金沢大	4
岐阜大	45
静岡大	7
名古屋大	43
名古屋工大	5

国公立大学	現・過合格数
京都大	23
大阪大	10
神戸大	6
広島大	7
九州大	1
岐阜薬大	13
名古屋市立大	12
国公立合計	240

私立大学	現・過合格数
青山学院大	10
慶応義塾大	26
上智大	10
中央大	25

私立大学	現・過合格数
東京理大	54
法政大	19
明治大	44
早稲田大	37
南山大	43
同志社大	95
立命館大	121
私立計	735

医学部医学科	現・過合格数
国公立大学	30
自治医大	1
私立大	17
医学部計	48

不安だった受験直前について

私は中学生の頃から建築士になりたいと考えており、家から通える名古屋大学に進学できたら良いなと漠然と考えていました。その考えは高校三年生になっても変わらず、名古屋大学を第一志望として受験勉強を始めました。三年生の秋の模試ではA判定で、家族、先生、友達には、このまま行けば大丈夫だと言ってもらいました。しかし12月から1月頃、受験が現実的になるにつれて私は自信をなくしてしまいました。理由は二つあり、一つは模試の問題は解ける一方、過去問が合格ラインに達する程解けていなかったから。もう一つは、周りの受験生も秋の模試から入試までに成績を伸ばしてくるので、模試の判定を信じてよいのか不安になったからです。私は現役で合格したかったため、出願期間には「志望大学を下げて出願したい」という気持ちになってしまい、出願先をギリギリまで悩みました。しかし、ずっと第一志望で合格の可能性もある中で、名古屋大学を諦めて後悔したくない気持ちや、先生方が「あなたなら大丈夫」「あなたが解けない問題はまわりも解けない」と後押ししてくださったことから、前期はチャレンジ、後期は必ず合格しようという気持ちで前期に名古屋大学への出願を決めました。

出願した後の一か月間は、不安やプレッシャーを抱えながらも、これらを原動力に変え、毎日勉強に励みました。私は通学に約一時間かかったのですが、一人で勉強しているのと不安になってしまったため、自由登校期間も最終日まで学校に通いました。平日の午前中は必要に応じて物理と数学、英文の補講をとり、昼は友達と一緒に昼食を食べ、午後は塾または19時まで友達と学校の自習室で勉強しました。私はこの期間、

令和6年度大学入試 合格者たちの声

今春の大学入試合格者たちの声を掲載します。詳しくは「合格体験記」として、6月に発行予定の「進路の葉」に掲載しますので、ご覧ください。

今自分が一番伸びる勉強は何か、何が足りてなく、何をしたら一番効率よく得点を伸ばせるかを考えて勉強をすることを心掛けました。

振り返ると、私は出願前の不安が原動力となって、本番直前までの一か月間、集中して勉強に取り組むことができた。また入試前日まで妥協せず勉強したおかげで、二次試験を解く力は大きく伸ばせたと思います。皆さんも直前期は様々なことに不安を感じるかもしれませんが、その不安が合格を後押ししてくれるはずなので、最後まで粘り強く頑張ってください。応援しています。

最後まで徹底して自己分析

僕は、大学受験対策を経て勉強法について深く考えることとなりました。その勉強の中で、特に意識するべきだと思ったことを挙げます。

まず、自分の弱点を知るために自分を完全に客観視することは、どうしても限界があるということ。特に、ぱっと見どこが悪いかがわかりづらい記述問題です。そこで、頼ったのは先生方です。先生方には、その問題に対する僕の持つ未だ解答を見て、その添削をしていただき、添削をした上での反省点や、問題を参考にした本番で使えるテクニックまで丁寧に教えていただきました。お世話になりました。おかげで、解答と自分の答案の何が違うのかもわからなかった記述問題も、どうやって取り組むべきかが徐々にわかっていき、自分の解答への自信に根拠を持たせることも出来ました。

次に、基本的なことではありますが、勉

強の量と質の両立です。量が大事だと感じた理由は、自分の弱点をなるべく多く見つけるといふ点もありますが、多くの問題を解くと、自分が以前わからなかった問題の類題に出会えるからという理由が大きいです。やはり、一度間違えた問題を一度で学びすぎるのは難しく、二度目以降にわかっただけで学ぶことができないと思います。同じ問題に取り組むのも良いですが、違う問題で類似点として見つけて反省を活かすことができます。質が大事だと感じた理由はすでに述べた勉強の流れの中で、何度も同じ種の問題が解けなくてはあまりに非効率です。現役生は特に、新しいものを学ぶ時間が多いので、知識を活用するための勉強に充てられる時間が少なくなるため、一回一回の新しい学びを大切にすべきだと感じました。

さらに、ともに勉強する仲間を大切にすることです。受験勉強は、孤独との戦いになります。人によるかもしれませんが、人と関わらないで勉強し続けるのは根性が必要であり、ストレスも溜まりやすく、勉強の質に悪影響を及ぼしかねません。また、仲間と勉強を共有することで、やりすぎはいけません。仲間と自分との客観的な比較ができ、自分の弱点を見つけられることができたり、三人寄れば文殊の知恵という言葉のように、新しい考え方が得られたり、一緒に学校で勉強することが多かったのですが、人と勉強すると集中できないという人の方が多数派だと思うので、自分が解いてみて難しいと思った問題の共有からいいので始めてみるというかもしれません。

受験勉強は、大変だと思えますが、自分と向き合うことを大切にして頑張ってください。

己が下手さを知りて一歩目

僕が岐阜高校に入學した当初、最も驚いたのは同級生のレベルの高さでした。スマホのスクリーンタイムが十数時間続きなのに期末も模試もほぼ校内トップの天才や、高校入學前の春休みにフォーカスゴールドを1周してきてしまう努力家など、こんなところに自分がいいのかと思わせてくれるような友達が高高にはいたのです。周りのレベルの高さに驚かされたのは入學当初だけではありません。受験期には、休憩はほぼ無しで十何時間も集中して勉強しきつてしまうような、もはや天才の域に達する強い精神力を持った人もいることがわかりました。

この体験記ではそんな何も持っていなかった僕を合格に導いた武器「戦略」について語ろうと思います。

一般的に「戦略」とは、ある目的のために持っている力や資源の使い方を考えることです。例えば戦争なら、勝利という目的のために持っている軍隊、食糧の配分、運用方法を考えなければどんなに強い軍事力を持っていてもまず負けます。これが受験勉強になるとどうでしょうか。受験では、現役での志望校合格という目的のために資源、つまり時間や教材をどう使うかを考える、というイメージになります。具体的には、①明確な目標を立てる(志望校合格、実力テストで校内〇位、定期テストの数学満点、など数値で達成したかハッキリわかるもの)②自分の位置を把握する(過去問で英単語はわかるが訳ができない、そもそも授業についていけないなど)③目標達成のために何をやるか(何の勉強に時間を使って、どんな力を伸ばすか)の3ステップを大きなテスト毎に、最終目標を見据えつつ繰り返すことです。

このような取り組みを始めてから僕の受験人生は大きく動き出しました。「戦略」を考えることには多くの強みがありますが、中でも「受験戦略」の最大の強みは、「努力の

方向性を間違えにくくできる」ことだと思っています。戦略のない勉強はゴールに辿り着いていない感じがせず辛く、苦しいです。しかもその割に結果も出にくいのです。努力の方向性が正しいと思える受験勉強は辛さ、苦しさよりもむしろ楽しさ、充実感が勝ちます。だから、悩める受験生は「戦略」を考えてみることを本心に強くおすすめします。

ただ、「戦略」を使って受験をする際に気をつけなければいけないときがあります。それは、「戦略」を立てた結果、目標を達成できなかったときです。僕もこのような失敗をたくさんしてきました。そして、そこで学んだのは、達成できなかった原因を考えることが大切なのであって、失敗した自分を責める必要は一切無いということです。

例えば、計画を立てたは良いものの数日しか続かなかったとき。このときも、自分の意志は弱いんだと自分を責める必要はありません。問題なのは、自分の意志の弱さではなく、自分の意志の弱さを踏まえて戦略を立てなかつたことです。このような反省を繰り返すことで、僕は「戦略」の精度を高めることができるようになっていきました。

最後に、先輩の皆さんの中でも、特に僕のように地頭にも強い精神力にも自信がない人たちにとつて少しでも手助けになれば、体験記を書いた者としてこれ以上の幸せはありません。志望校に向かって頑張る皆さんを心から応援しています。



海外研修A (アメリカ)



三月十日から十七日までアメリカ研修を実施し、一・二年次の希望者三十九名が参加した。

【研修一日目】

●メキシコとの国境見学

●女性学についてのプレゼン

●大学生との交流とキャンパスツアー

【研修二日目】

●キャンパスのガーデンツアー

●学内のサステナビリティについてのプレゼン

●学内でゴミ問題などに取り組む学生のプレゼンを聞き、学生という立場でありながら活躍する姿に感銘を受けた。

●大学生とのグループワーク

●カリフォルニア大学サンディエゴ校の学生達と、岐阜の課題について考えた。

【研修三日目】

●エネルギー問題についてのプレゼン

●日本人研究者のプレゼンを聞き、海外で働くことについて考えさせられた。

●サンディエゴのゴミ問題について

●ペトコパーク訪問

●気候変動についてのプレゼン

●大学生とのグループワーク

●サンディエゴフードバンク訪問

●巨大な施設が、寄付やボランティアで運営されていることに驚いた。

【研修四日目】

●最終プレゼン発表

●これまでのグループワークの成果を発表した。



海外研修B (マレーシア・ボルネオ)



新型コロナウイルスの感染拡大を受けて中止した時期を挟んで、第二回のマレーシア・ボルネオ研修を実施した。三月十一日(月)から十七日(日)までの七日間、一・二年次生の希望者三十名が参加した。

◆サゴ椰子とサゴ虫

農業に適さない土地のマレーシアで、人々はサゴ椰子を食糧としていた。また、サゴ椰子を食べるサゴ虫は、貴重なタンパク源であった。どちらも実際に食べてみて初めてわかることがあった。

◆樹液採集体験とパーム油精製工場見学

かつて天然ゴムは外貨を稼ぐための重要な産業であった。ゴムの木の幹に工具を使って傷を付け、樹液を採集するという昔ながらの方法を体験した。

一方、現在の主要産業はパーム油の精製であり、そのために世界有数の熱帯雨林が伐採されている。実際に工場を見学すると、さまざまな工夫を凝らして環境にも配慮していることがわかった。

◆ビーチクリーニング

コタキナバル市内の砂浜で清掃活動を行った。砂浜に漂着する夥しい数のプラスチックゴミを拾いながら、海洋プラスチック問題の深刻さを学んだ。





●部活動だより● 部活加入一覧



(令和6年4月16日現在)

部名	顧問	所属生徒数								
		男子			女子			合計		
		1年	2年	3年	1年	2年	3年			
硬式野球	八代 伊藤(翼) 若山 五島	6	12	11	29	0	6	3	9	38
陸上競技	今井 小澤 伊藤(人) 《河村》	8	6	9	23	5	2	9	16	39
サッカー	松嶋(望) 田口(宗) 高橋 (田口) 河井(竹下)	21	16	11	48	3	0	2	5	53
バレーボール	覚田 古川 市原 篠田(岩倉)	8	5	9	22	11	7	8	26	48
バスケットボール	若岡 大谷 瀬川 安田 《小川》	14	6	10	30	8	9	5	22	52
ソフトテニス	青谷(勇) 北川(英) 堀口	9	3	8	20	4	3	4	11	31
水泳	鈴木 前田	4	3	6	13	4	0	7	11	24
卓球	塩澤 古橋 高瀬	10	10	10	30	5	6	5	16	46
バドミントン	早水 武藤(雅) 各務 川村 《桑坪》	10	16	13	39	11	12	6	29	68
柔道	岩井	2	0	2	4	1	0	0	1	5
剣道	小池 植植(研) 永瀬	4	4	3	11	3	4	5	12	23
軟式野球	及川 武藤(恒)	7	13	7	27	1	2	1	4	31
テニス	伊藤(拓) 加藤(健) 田中 石川 《丹羽》	22	15	10	47	14	9	7	30	77
ハンドボール	森本 黒井 《正田》	7	5	7	19	3	0	2	5	24
体育系合計		132	114	116	362	73	60	64	197	559

部名	顧問	所属生徒数								
		男子			女子			合計		
		1年	2年	3年	1年	2年	3年			
美術	谷口 日置	1	3	0	4	3	7	9	19	23
書道	筑間 木野村	1	2	1	4	7	13	9	29	33
演劇	水谷 山崎	4	2	4	10	3	4	1	8	18
音楽	阿部 北川(真)	0	7	5	12	9	13	2	24	36
文芸	稲葉 伊藤(正)	0	0	3	3	3	2	2	7	10
茶華道	石榑 藤吉 《横井》 《井上》	0	0	0	0	5	5	3	13	13
自然科学	日比野(祐輔) 《園部》 太田 榑藤 遠藤(村瀬) 萩(侑)	24	31	20	75	6	17	3	26	101
E S	S 岸本 森(智)	1	3	5	9	14	14	4	32	41
調理学	小林	0	0	0	0	17	8	13	38	38
写真	真 村橋 尾関	2	4	7	13	12	4	10	26	39
囲碁・将棋	井深 伊藤(司)	7	8	7	22	1	3	1	5	27
吹奏楽	白木 北川(幸) 福野 《尾家》	4	7	5	16	20	8	13	41	57
クイズ研究	澤田 大野	14	9	22	45	0	5	2	7	52
文化系合計		58	76	79	213	100	103	72	275	488

局名	顧問	所属生徒数								
		男子			女子			合計		
		1年	2年	3年	1年	2年	3年			
図書	青谷(直) 藤吉	6	7	3	16	7	12	4	23	39
放送	村橋 木野村 阿部	4	5	3	12	7	3	2	12	24
チア	福野 木野村	0	0	0	0	11	13	12	36	36
局合計		10	12	6	28	25	28	18	71	99

6月行事予定		7月行事予定	
日曜	行事	日曜	行事
1 土	スマホフリーデー(～6/2)	1 月	朝読書週間(～7/5) 勤体④
2 日	3年第1回総合全国模試(希望者)	2 火	
3 月		3 水	合同応援練習 教室ワックスがけ③
4 火		4 木	体育大会種目決定(LHR)
5 水		5 金	
6 木	前期中間考査(～6/11)	6 土	1・2年進研記述模試
7 金	3年PTフォーラム	7 日	3年進研記述模試 1・2年進研記述模試(追試)
8 土		8 月	勤体⑤
9 日		9 火	
10 月	命を守る訓練②(考査後)	10 水	
11 火	伝達表彰・社行会	11 木	保護者懇談会(午後、～7/18) [60分R12木] 3年次集会(進路) 岐高だより[156号]発行
12 水	休業日	12 金	スクールカウンセリング④ [60分金123]
13 木	教室ワックスがけ① 県いじめアンケート① 校内迷惑調査①	13 土	東大ブレ
14 金	命の尊さ講話(13:00～14:40) 座談会(15:30～17:00) [60分 R234]	14 日	東大ブレ
15 土		15 月	《海の日》
16 日	名大ブレ	16 火	献血 [60分R345]
17 月	1年進路意識調査 [月123水5月5]	17 水	[60分水345]
18 火	3年進路意識調査 [1年6限LHR]	18 木	1年次集会(林間学舎) [60分木231 1年3限LHR]
19 水	2年進路意識調査 [水1234月4]	19 金	大掃除・終業行事・伝達表彰・社行会(34限) [50分金45]
20 木	演劇ワークショップ(1年次1～5限 5クラス) 1年応援練習(放課後)	20 土	1年林間学舎活動(～7/30)
21 金	演劇ワークショップ(1年次1～4限 4クラス)	21 日	京大ブレ
22 土	即興型英語ディベート交流大会(オンライン)	22 月	夏季休業(～8/23) 3年登校日(AM)(予定) 2年夏季補習(AM) 3年夏季補習(PM)(～7/26)
23 日		23 火	小学生のための高校見学会
24 月	勤体③	24 水	高校見学会
25 火	[1年6限LHR] [50分]	25 木	高校見学会
26 水	3年医学部ガイダンス 職業学部体験プログラム(地域医療) SOS出し方講話 スクールカウンセリング③	26 金	
27 木	教室ワックスがけ②	27 土	
28 金		28 日	3年第2回全校共通テスト模試
29 土	PTA林間学舎奉仕活動	29 月	
30 日		30 火	
		31 水	全国縦文祭開会式
備考	林間学舎事前健康調査・健康相談 学習懇談会	備考	林間学舎健康相談 基礎講座 命を守る訓練③

令和6年度 教職員人事異動 (敬称略)

転入

後列右から
 保健体育 小澤奈津子 (武義高等学校)
 保健体育 鈴木 裕貴 (華陽フロンティア高等学校通)
 英語 伊藤 正剛 (長良高等学校)
 英語 五島 興 (関高等学校)
 英語 武藤 恒平 (新規採用)
 英語 朝山 夏輝 (中津高等学校)
 英語 青谷 直美 (岐阜県図書館)
 図書司書 (岐阜県図書館)
 事務部長 (岐阜県図書館)
 事務部長 (岐阜県図書館)
 英語 朝山 夏輝 (中津高等学校)
 英語 青谷 直美 (岐阜県図書館)
 図書司書 (岐阜県図書館)
 事務部長 (岐阜県図書館)
 事務部長 (岐阜県図書館)

前列右から
 国語 稲葉由里子 (池田高等学校)
 国語 福野衣里子 (岐阜工業高等学校)
 国語 高田 剛 (岐阜工業高等学校 高校教育課)
 教頭 小野寺 彰 (教育委員会)
 事務部長 安田 翔 (岐阜商業高等学校)
 数学 青谷 勇佑 (華陽フロンティア高等学校通)
 理科 柘植 研一 (大垣北高等学校)



転出

教頭 渡部 彰規 (岐阜工業高等学校 定時制副校長)
 国語 藤澤 友祥 (教育研修課)
 国語 後藤祐大朗 (不破高等学校)
 地歴・公民 服部 晶子 (本巣松陽高等学校)
 数学 杉山 秀謙 (各務原高等学校 教頭)
 数学 加藤早也也 (関高等学校)
 保健体育 糸井 紀 (羽島北高等学校)
 保健体育 柘植 由衣 (大垣北高等学校)
 書道 古川 徹 (大垣養老高等学校)
 英語 福田 順子 (大垣商業高等学校)
 英語 水平 怜那 (各務原西高等学校)
 英語 寺倉 新一 (郡上特別支援学校)
 事務部長 興田 浩子 (岐阜県図書館)
 図書司書 笠井 利圭 (岐阜県図書館)